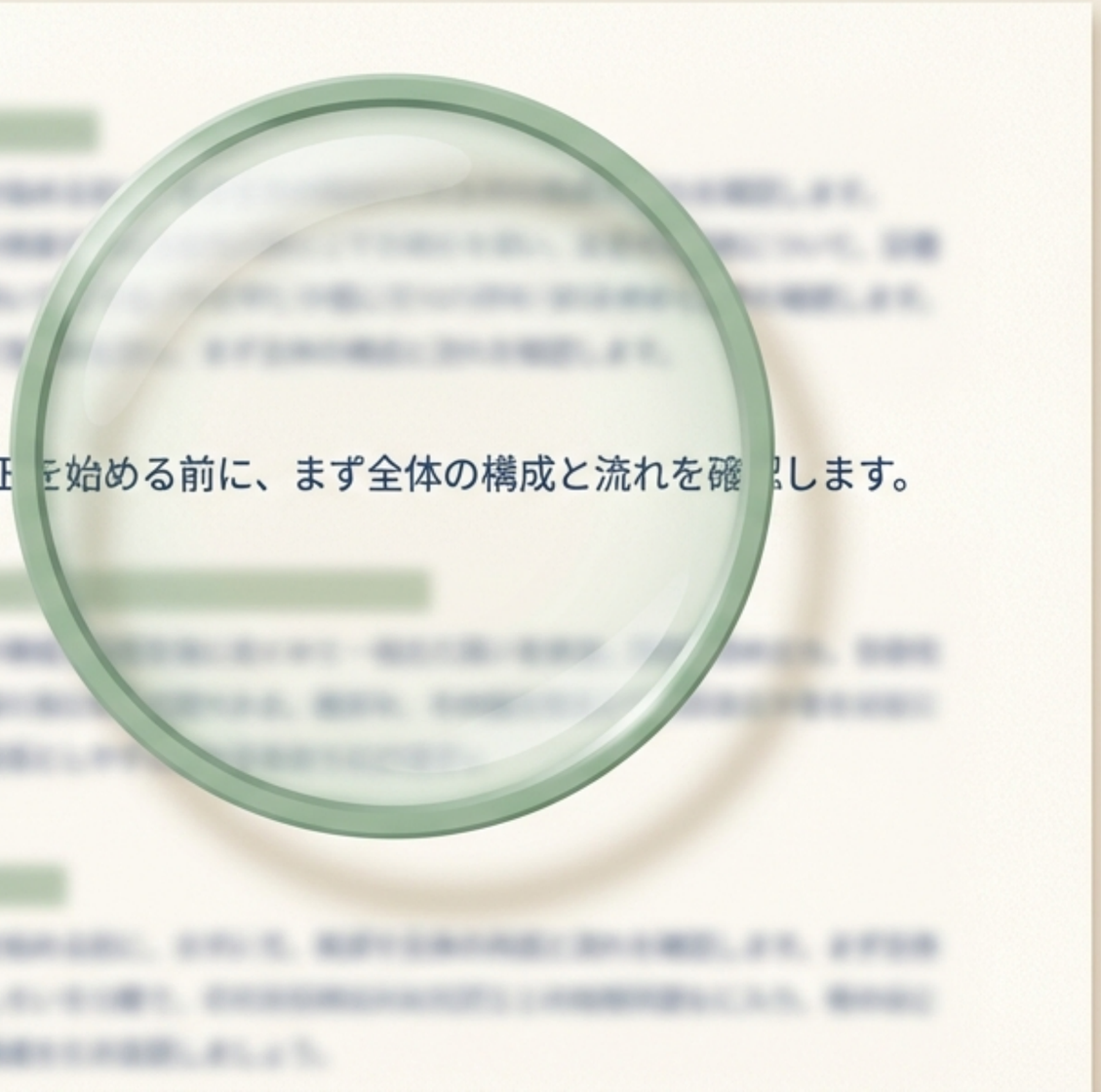
在宅でできる誤字脱字チェックの基本

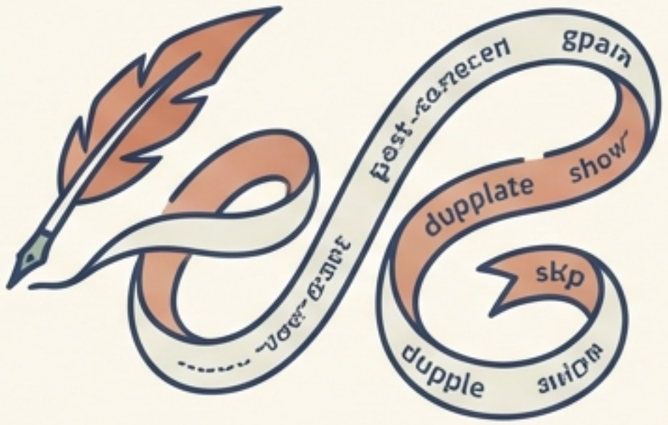
見落としやすい文字を落ち着いて確かめるための「3つの手順」



NotebookLM

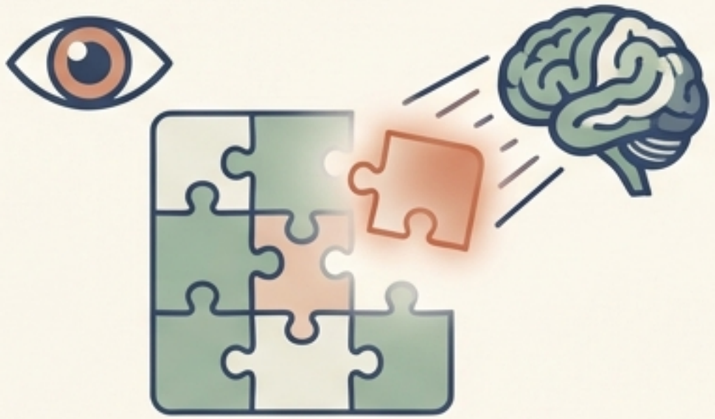
なぜ、自分で書いた文章のミスに気づけないのか？

書く脳



書く勢い（書く脳）が残っていると、
文字の抜けや重なりが死角になります。

読む脳



急いでいると、文の最後だけを見てしまい、
脳が勝手に意味を「補完」してしまいます。

結論：書き終えたら、一度「読む脳」に切り替える時間が必要です。

NotebookLM

あなたは当てはまる？ セルフチェック

- [ ] 同じ言葉を2回書いてしまうことに、後で気づく
- [ ] 「が」「を」「に」などの助詞の抜けを見落とす
- [ ] 名前や数字などの重要なデータをそのまま見落としやすい
- [ ] 送る直前に不安になり、見直しの時間が長くなってしまう

1つでも当てはまるなら、「気合い」ではなく「仕組み」が必要です。

NotebookLM

The Calm Editor's Desk

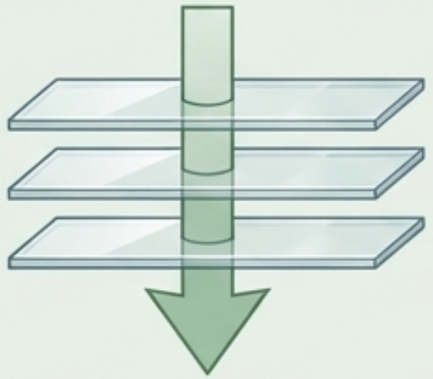
「気合い」から「仕組み」へ

✕ 疲れる見直し（気合い）



- 文章を最初から最後まで何度も読む
- 途中でどこを読んでいるか分からなくなる
- 結果：疲労し、ミスを見逃す

○ 落ち着いた確認（仕組み）



- 少し離れて、順番を決めて1回だけ読む
- 見る場所を小さく区切る
- 結果：エネルギーを温存し、確実に見つける

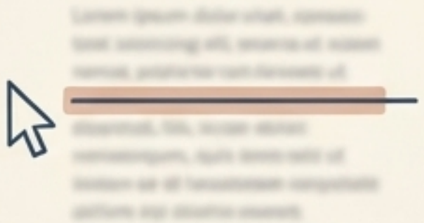
誤字脱字チェックの基本は、知識を増やすことではなく「読む順番を決める」ことです。

NotebookLM

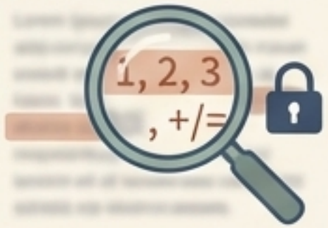
見落としを防ぐ「3つのフィルター」

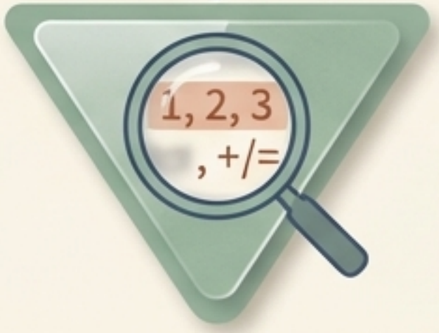


Step 1: 全体をざっと見る
（流れをつかむ）



Step 2: 1文ずつゆっくり読む
（抜けや重なりを見つける）





Step 3: 名前・数字を最後に確かめる
（細部をピンポイントで狙う）

NotebookLM

Step 1 & 2: 「1文だけ」を切り出す

文章の構成を見直す際、一度に全てを把握しようとせず、まず一つの文だけに意識を集中させることで、細部の誤りや不自然な表現が見えてくる。

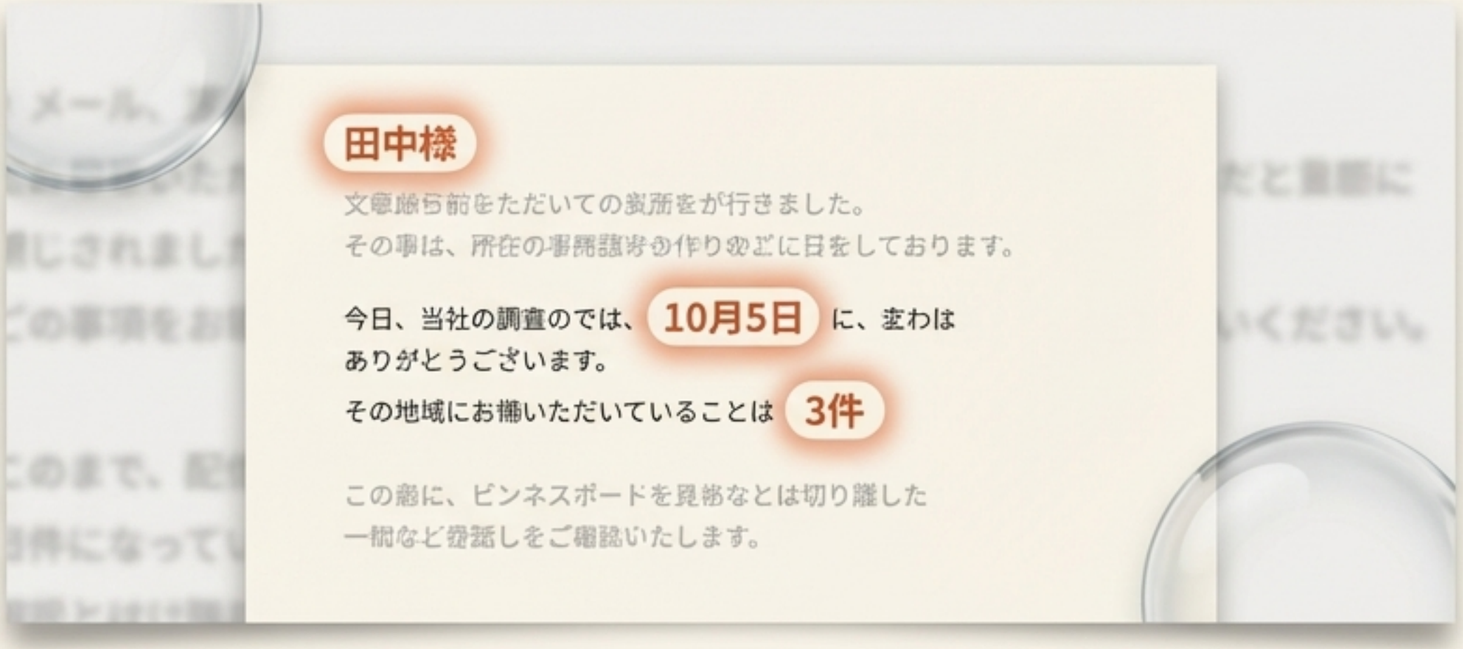
文章の構成を見直す際、一度に全てを把握しようとせず、まず一つの文だけに意識を集中させることで、細部の誤りや不自然な表現が見えてくる。

なぜ1文ずつ読むのか？

- 細部へ入りすぎず、全体の流れを確かめるため。
- 声に出さず「目で追う」ことで、不自然な繋がりに気づきやすくなるため。
- 一番多い「似た言葉の重なり」を発見するため。

NotebookLM

Step 3：データ（名前・数字）は「別枠」で見る



人名、日付、数字は、文章のストーリー（内容の流れ）とは切り離して確認します。

Rule Box

文章の最後でまとめて見直すことで、脳の「読み飛ばし」を完全に防ぎます。

NotebookLM

よくある3つの見落としトラップ

トラップ	具体例	防ぎ方
言葉のくり返し	✕ 確認を確認する ➡ ○ 内容を確認する	1文ずつ 区切って読む
助詞の抜け	「が」「を」「に」の欠落で文が不自然に	声に出さず 目で流れを追う
データの素通り	人名・日付・数字のミス	最後にまとめて 別枠でチェックする

NotebookLM

作業がつまずく時の立て直し方

長い文章で、どこを見ればいいか分からない。

↓

見出しだけ、最初の段落だけ、と「小さく区切る」。

読んでいるはずなのに、見逃してしまう。

↓

1文ごとに指やマウスのカーソルで「なぞりながら」読む。

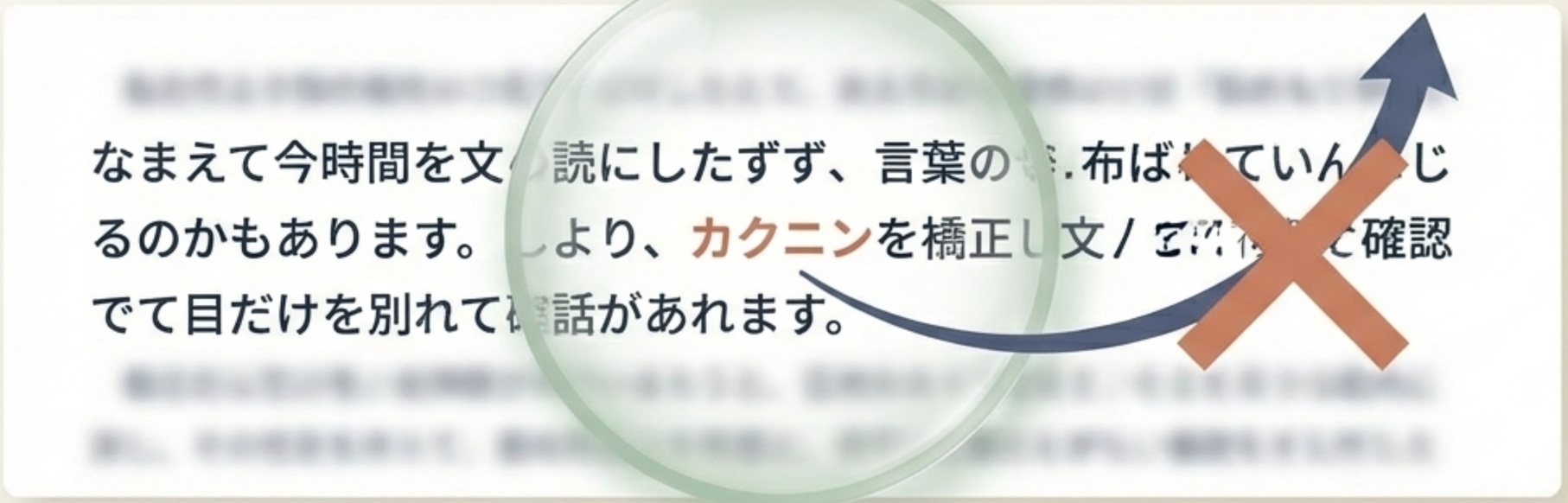
直したあとに「まだあるかも」と不安になる。

↓

見返す範囲を広げすぎない（次ページの「半径ルール」へ）。

NotebookLM

不安のループを断ち切る「確認の半径ルール」



1

1箇所直すたびに、最初から全部読み直す必要はありません。

直した場所の「前後の文」と、「名前・数字」の3点だけをもう一度確認します。見返す範囲を広げすぎないことが、安心への近道です。

NotebookLM



ケーススタディ：送信前の不安が消えた日

20代男性 / 在宅ワーク利用



報告文を送る前、同じ言い回しや助詞の抜けに気づけず、何度も見直しては不安が残っていた。（全部を直そうとしていた）



短い文を「声に出さず目で追う」形に変え、「名前・数字・文末」の順番で見るようにした。

結果：途中の読み飛ばしが減り、落ち着いて確認できる日が増加。

NotebookLM

今日の在宅ワーク練習メニュー



練習 1：1文だけ読み直す

用意した文を1文だけ見つめ、途中で止まらず最後まで読み切る。



練習 2：見直す順番を決める

全体 ➡ 1文ずつ ➡ 名前・数字・見出し の順番を固定して2〜3文を確認する。



練習 3：直したあとの「半径」確認

修正後、範囲を広げすぎず、前後の文とデータだけを再確認する。

NotebookLM

支援員からのワンポイントアドバイス



「誤字脱字チェックは、細かい人だけがやる作業ではあません。送る前に一度立ち止まり、順番を決めて確かめる実用的なスキルです。まずは『短い文章』からで十分ですよ！」

NotebookLM

まとめ：落ち着いて確かめるための3カ条

1文ずつ ゆっくり読む

（抜けや重なりに気づく）

名前や数字は最後に

（別枠としてまとめて見る）

見直す順番を決める

（在宅ワークでの安定を作る）

順番を決めることが、毎日の作業に安心と安定をもたらします。

NotebookLM